

各 位

株式会社北日本銀行
 株式会社 T T K
 株式会社 T T K テクノ
 東日本電信電話株式会社 宮城事業部

ICT ソリューションの活用による地域の更なる経済発展に向けて
～株式会社北日本銀行、株式会社 TTK、株式会社 TTK テクノ、東日本電信電話株式会社との連携について～

株式会社北日本銀行（取締役頭取：柴田 克洋、以下「北日本銀行」）、株式会社 T T K（代表取締役社長：土肥 幹夫、以下「T T K」）、株式会社 T T K テクノ（代表取締役社長：長島 祐之、以下「T T K テクノ」）と東日本電信電話株式会社 宮城事業部（取締役宮城事業部長：中村 浩、以下「N T T 東日本」）は、お互いの強みを相乗させ連携することにより、地域社会や経済の活性化を目的とする連携を行うことで合意しました。

本連携モデルの第一弾として、地域の中小企業が抱える「人手不足」といった課題に対し、北日本銀行、T T K、T T K テクノ、N T T 東日本が連携し、I C T ソリューションにより解決を図る取り組みを開始します。

北日本銀行では、本連携を通じて取引先の経営課題解決に取り組み、地域経済活性化に努めます。

記

1. 背景

現在、地域の中小企業の約 6 0%が「人手不足」の状態にあり^{※1}、従業員の業務負担の増加やそれに伴う離職者の増加、そして業績悪化といった大きな課題を抱えています。

このような人手不足の解決手段として、業務の効率化や生産性向上に役立つ I C T ソリューションが注目されており、地域中小企業の経営コンサルティングを実施している北日本銀行においても、当該企業の抱えるさまざまな課題に合わせて I C T ソリューションにより解決を図りたいと考えていました。

上記の背景のもと、北日本銀行と地域企業へ通信環境等のコンサルティングを行う T T K グループ、および光回線などのアクセスサービスや I C T ソリューションを提供する N T T 東日本が連携し、中小企業の経営課題の解決と地域社会や経済の発展に向け取り組みを実施いたします。

※1 日本商工会議所 平成 29 年「人手不足等への対応に関する調査」参照

2. 各社の役割

北日本銀行	・取引先企業のさまざまな経営課題を把握し、I C T コンサルティングの要望がある企業を T T K グループ、N T T 東日本に紹介
T T K	・T T K テクノが北日本銀行の取引先企業へ I C T ソリューション等の提案を行う上での後方支援
T T K テクノ	・北日本銀行から紹介のあった取引先企業への I C T ソリューション等の提案

N T T 東日本	<ul style="list-style-type: none"> ・北日本銀行の取引先企業の経営課題の解決に向けた最適な I C T ソリューションの検討・提案 ・北日本銀行の取引先企業が提供する I C T ソリューション等の事業拡大支援
-----------	--

3. 「人手不足」の解決に向けた I C T ソリューション例

- ・ 介護業界における職員負担軽減に向けた、A I ・ネットワークカメラ・センサーの活用による見回りの効率化 【別紙 1】
- ・ 小売業界における万引き被害の防止に向けた、A I 搭載カメラの活用による不審行動の検知、アラート通知 【別紙 2】
- ・ 農業における生産性向上に向けた、ネットワークカメラ・センサー・クラウドによる圃場環境の可視化・遠隔監視 【別紙 3】
- ・ バックオフィス業務の効率化に向けた、R P A (Robotic Process Automation) による定型業務の自動化 【別紙 4】

4. 連携開始時期

平成 3 0 年 7 月

5. 本連携モデル全般に関するお問い合わせ先

東日本電信電話株式会社 ビジネス開発本部 第四部門 コラボレーション推進担当

秋田、佐々木、鈴木

TEL: 03-5359-9628

<補足>

(各社概要)

株式会社北日本銀行 所在地：岩手県盛岡市中央通一丁目 6 番 7 号 代表者：取締役頭取 柴田 克洋	株式会社 T T K 所在地：宮城県仙台市若林区新寺 1 丁目 2-23 代表者：代表取締役社長 土肥 幹夫
株式会社 T T K テクノ 所在地：宮城県仙台市若林区新寺 1 丁目 2-23 代表者：代表取締役社長 長島 祐之	東日本電信電話株式会社 宮城事業部 所在地：宮城県仙台市若林区五橋三丁目 2 番 1 号 代表者：取締役宮城事業部長 中村 浩

以 上

- ① AI・ネットワークカメラによる高機能見守り
- ② 被介護者のプライバシーに配慮したセンサーによるカメラレス見守り

背景

介護職員の稼働負担・
介護事故の発生リスクが課題

✓ 夜勤を含め職員の稼働負担が大きい



ナースコール



定期巡回

✓ 介護事故の発生リスク



深夜徘徊



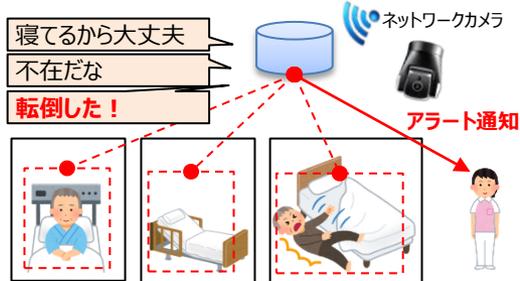
転倒、転落

ICTソリューション活用後

- ① AI・ネットワークカメラによる異常検知による見守り
- ② センサーによるプライバシーに配慮したカメラレスの見守り

① 被介護者の挙動を

AIにより検知・判断/アラート通知



② 被介護者の生活環境や外出を

センサーにより検知/アラート通知

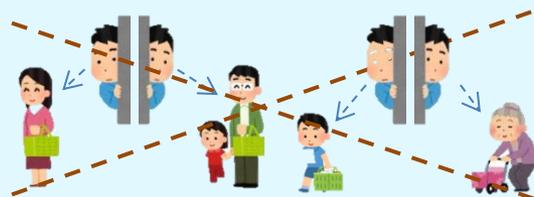


AI搭載カメラによる万引き防止ソリューション

背景

万引き被害は小売業界の 大きな経営課題

- ✓ 店内の商品をレジに通さず、店外に持ち出した瞬間に万引きが成立
⇒お客様一人一人のマンマークは不可能



- ✓ 万引きの被害にあったかどうかは棚卸の結果が出てから判明
⇒被害をタイムリーに知ることができない



ICTソリューション活用後

- ✓ AI搭載カメラによる不審行動の検知～不審者への声かけを効率的に行い万引きを未然に防ぐ

① 検知

来店客の不審行動をシステムが検知



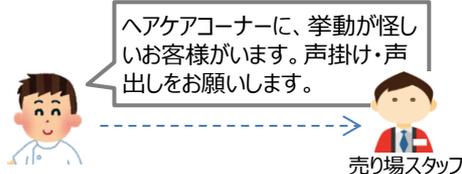
② 受信

検知情報を売り場責任者の
スマホ宛に通知



③ 現場指示

売り場責任者から売り場スタッフへ
不審者への声かけを指示



④ 声かけ・登録

声かけた売り場スタッフが
責任者へ報告、システム登録



IoTの活用による圃場環境可視化による稼働削減・データに基づく安定的な栽培の実現

背景

<農業の課題>

- **農業人口の減少**
(1965年1,151万人⇒2015年200万人※¹)
- **農業従事者の高齢化**
(65歳以上が64%※²)

<果樹農業の特徴>

- 機械化が困難な作業が多い、かつ高品質生果の生産が中心であるため **高い技術力が不可欠**
- 気象の影響を受けやすく **収量・品質が変動**

【収量・品質が不安定】



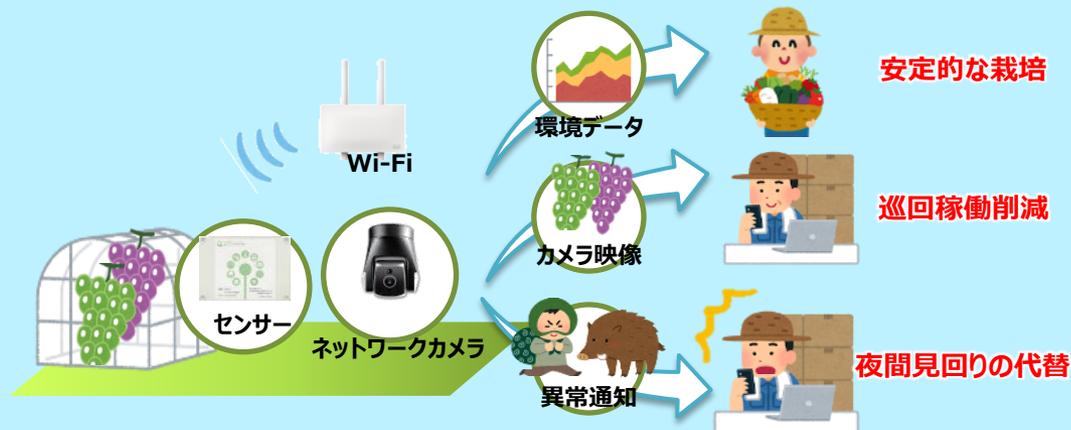
【慢性的な従事者不足／ノウハウ継承問題】



※¹ 農業構造胴体調査
※² 農林業センサスデータ

ICTソリューション活用後

- ✓ **ネットワークカメラ+センサー+クラウド**を導入し、温度や湿度を収集・圃場環境可視化
- ✓ 定量データに基づく安定的な栽培、また遠隔監視により、異常時やアラート通知時の駆けつけによる巡回業務を効率化



バックオフィス業務の効率化に向けた、RPA(Robotic Process Automation)による定型業務の自動化

背景

ICTソリューション活用後

ケース①：データ入力作業の効率化

高圧電力の申込受付時に契約内容のシステム登録を実施



全項目を受付担当者が投入

システム登録作業をRPAによって自動化



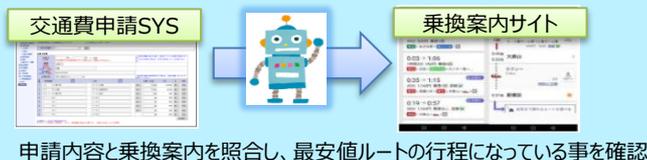
ケース②：入力内容の適正確認業務効率化

交通費の申請は乗換案内に基づき申請し、管理者と旅費担当者がチェックを実施



申請内容と乗換案内を照合し
交通費を確認する稼動が発生

最安値ルートの行程確認をRPAによって自動化



ケース③：文書作成・メール送付

健康診断日程情報は、Excelに社内HPからメールアドレスを転記して周知を実施



手作業で社員一人ひとりにメールを送付

メールアドレスの検索とメール送付をRPAによって自動化

